

「みんな ちがって みんな いい」
～ 「ぞうさん」の歌詞 から ～

(カメラを 校長 を映してください。)

皆さん、おはようございます。

今年度初めての全校集会ですね。この記念すべき第1回目、私が皆さんに心を込めて届けるメッセージは、定番、お決まりの話です。だから、3年生の皆さんは、3回目になりますね。2年生は昨年に引き続いて2回目、初めてお伝えする1年生の皆さん、私の言わんとする「心」をしっかりと汲み取っていただき、皆さんの毎日の生活に活かして下されば、これに勝る喜びはありません。では、聴いてくださいね。

皆さんが、小学生になる前、そんな幼い頃、きっと誰もが歌ったであろう「ぞうさん」の歌の歌詞について、私は説明を加えながらお話ししたいのです。では、今年もまた、先ずは、私の生歌を披露させていただきますね。

<♪ぞうさん♪>

いかがでしたか？ 聴くに堪えなかった方もいたかな。失礼しました。聴いていただき ありがとうございます。

私は、この歌詞が大好きです。私が小学校3年生の時、担任の先生から教えていただいた話、私が感動を受けた話を、今から皆さんに伝えます。

(カメラを ソウの絵 を映してください。)

これは、ゾウの子どもが、(みんなと違ってお前だけが)鼻が長いと悪口を言われた時の様子を表しているのだと。その時、ゾウの子どもは、怒ったり、しょんぼり悲しんだりしないで、世の中で一番好きな「母さんも長いんだよ」と、周りの人たちに、胸を張って、得意げに、笑顔で言い切ったのですよ！ と教えていただきました。♪ そうよ 母さんも 長いだよ ♪

(カメラを 校長 に戻してください。)

私の恩師が教えてくれたこの「ゾウさんの歌詞」の意味を思い出すと、年を重ねた今でも、私は元気が出てくるのです。私の人生の応援歌です。そして、実は、ゾウさんは、いつも私の傍にいますよ。その根拠をお教えしましょう。どうぞ、私の名札を見てください。

(カメラを 名札 にズームUP してください。)

美術科の〇〇先生が、「校長先生と言えば、イメージがゾウさん。校長先生のためにこんな名札を作ってみました。よろしければどうぞ！」とプレゼントしてくれたのです。だから、ゾウさんは、いつも私の傍にいます。

(カメラを 校長 に戻してください。)

鼻が長くて短くても、背が高くて低くても、肌の色が違っていても、(運動が)得意でも不得意でもかまわないのです。みんな同じではなく、違っているからこそすばらしいのです。『みんな ちがって みんな いい』

誰しも、それぞれに「良さ」をたくさん持っています。その良さを、互いに認め合って、楽しい学校生活を送ってほしいと思います。

以上、私の話を終わります。